

月刊 あなたが好き 私が好き 横須賀が好き と誇れる人づくり

2022/10/5 横須賀市教育委員会



10月号

策定に関わった方の思い「学校からの視点・その2」

前号に続き、計画の策定に関わった「横須賀市教育振興基本計画策定検討委員会」の皆さまの「横須賀の目指す教育の姿」への思い、

検討を振り返ってお寄せいただいたコメントをご紹介します。

小番 奈緒美 委員

中学校校長会代表
(鷹取中学校校長)



計画の中身に関しては、私自身がまだわかっていない部分もありますので、この理念を具現化するに当たり、「この部分をもっとこうした方が良いのではないか」など、我々の使命としてきちんと取り組んでいかなければと感じています。

「教えから学びへ」という部分は、まだ浸透していないと感じており、2030年に向けて、しっかり考えていく必要があると思っています。

そして、土台となる安心や信頼という部分においても、子どもがいきいきする・ワクワクする学校づくりに励んでいきたいと思っています。

「教え」から「学び」への転換を

学校教育では、「学びの転換」という言葉が常にあります。学校現場でもこれまでの一斉授業から、子どもが主体的に学ぶためにはどうすれば良いかと日々模索しています。

これからは、「教え」から「学び」への転換が必要だと思っています。

子どもがいきいき・ワクワクする学校づくりを

私は、中学校校長会の立場で参加いたしました。参加できない日程もありましたが、さまざまな立場の先生方や保護者の方々の考えを聞き、皆さまのご意見が横須賀の教育に対して真摯に向き合ったものであると痛感し、思いを新たに会議に臨みました。

この会議では、目指す教育の姿に関して、非常に長く議論されました。言葉だけではなく、その裏にあるものをどう伝えていくか、今後の私たちに問われていると思います。



計画を作って終わりではなく、これがスタートだと思っています。私もこの検討委員会に参加した一員として、時間をかけこだわった「目指す教育の姿」について、横須賀市の独自性を伝えるため、これから努力していきたいと思っています。



伊藤 学 委員

横須賀総合高等学校 校長



横須賀の良さを 世界に発信できる人間に

本校では「目指す生徒の人間像」のひとつに「横須賀の良さを世界に発信できる人間」を掲げています。

これは市立高校の存在意義でもあります。県立高校や他の私立高等学校などと比較して、横須賀の良さを、このグローバルな世界、横須賀で活躍するだけではなく世界のどこかで発信してほしいという願いを込めています。

私は、毎年卒業していく生徒たちに「将来この横須賀の良さを世界に発信できる人間になってください」と話しています。横須賀が大好きで、将来横須賀のために貢献できる、横須賀の良さを世界に発信できる人間になってもらいたいという思いがあります。

この計画を「好き」になり、伝えていきたい

皆さんの議論の中で、この教育振興基本計画、素晴らしいものができたのではないかと思います。

検討委員会は、5回目にして初めて対面会議でした。それまでオンライン会議を重ねてきましたが、これは私にとって初めての経験でした。数年前はこのような状況になるとは想定していませんでしたので、時代はどんどん変わっていくのだと思います。

この教育振興基本計画も、今の時点ではこれがベストだと思いますが、時代の変遷とともに、また形を変えていく必要があるのかなと感じています。

この計画には私たちの思いが込められていると思いますので、まずは私たち自身が

この教育振興基本計画を熟知し、キャッチフレーズにもありますが、好きになって人にどう伝えていくかを考えなければならないと思います。

施策の中にも、唯一の市立高校として特化したものを入れていただいています。

まずは本校の教職員に内容を十分に理解してもらい、この計画に沿って魅力ある横須賀市立高校を運営していく責任を肝に銘じているところです。

令和4年度も開催する教育フォーラムなどでも、私たちがしっかりと伝えていきたいと感じています。

次号「策定に関わった方の思い
(社会教育の視点)」へ続く

Topic

横須賀市立横須賀総合高等学校

横須賀市立横須賀総合高等学校は、総合学科の高校です。総合学科では、普通科や専門学科とは異なり、普通科目と専門科目の中から一定の系統性を持って多様な選択科目が開設されます。この中から自己の能力・適性、興味・関心、進路などに基づき履修する科目を主体的に選択することができる、個性を重視したタイプの学科です。

また、学年の区分なく、必履修科目とともに自らつくる学習計画に沿って学びたい科目を学習し、決められた単位数を修得すれば卒業できる「単位制」をとっています。

